

人・農地プラン(篠原・舞阪・新津可美・江西)

市町村名	地区名	作成年月日	直近の更新年月日
浜松市	篠原・舞阪・新津可美・江西	R3.3.31	R5.3.31

【全体】

①地区内の耕地面積(全農地-耕作放棄地)	598.3 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	382.8 ha

【田】



1. 水田の現状

①耕地面積(全農地-耕作放棄地)	206.1 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	144.7 ha
③出し手面積(アンケート結果)	52.1 ha
i 耕作者がいない(管理のみ)	4.8 ha
ii 70歳以上・後継者いない	32 ha
iii 69歳以下・減らしたい	15.3 ha
④地区内において担い手農業者が引き受ける意向の農地面積	ha

2. 考察と課題

<篠原地区>

- ・水田を耕作している担い手農業者はいない。
- ・水田の6%が担い手以外の利用権設定地となっている。
- ・耕作放棄地の割合が45%と大きい
- ・市街化区域の北側に耕作放棄地が多い。
- ・市街化区域の北側には水利がない。

<舞阪地区>

- ・水田はない

<新津可美地区>

- ・水田を耕作している担い手農業者は5名。うち耕作面積1ha以上の大規模な担い手農業者は2名
- ・水田の7%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。

<江西地区>

- ・水田は22haと少ない。
- ・水田を耕作している担い手農業者はいない。
- ・水田の4%が担い手以外の利用権設定地となっている。

3. 担い手農業者への農地の集積・集約化に関する方針

<共通>

- ・水田の耕作地拡大を希望している担い手農業者はいない。

【畑】



1. 畑地の現状

①耕地面積(全農地-耕作放棄地)	392.2 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	238.1 ha
③出し手面積(アンケート結果)	59.0 ha
i 耕作者がいない(管理のみ)	5.3 ha
ii 70歳以上・後継者いない	37.2 ha
iii 69歳以下・減らしたい	16.5 ha
④地区内において担い手農業者が引き受ける意向の農地面積	40.7 ha

2. 考察と課題

<p><篠原地区></p> <ul style="list-style-type: none">畑を耕作している担い手農業者は30名(露地畑作28名、ハウス畑作7名、その他2名)畑の40%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。担い手農業者に高い割合で集積されている。市街化区域の北側に耕作放棄地が多い。市街化区域の北側には水利がない。国道1号南側では、排水不良の畑が多い。 <p><舞阪地区></p> <ul style="list-style-type: none">畑を耕作している担い手農業者は9名(露地畑作8名、ハウス畑作2名、ハウス果樹1名)畑の27%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。 <p><新津可美地区></p> <ul style="list-style-type: none">畑を耕作している担い手農業者は13名(露地畑作11名、ハウス畑作7名、ハウス果樹1名)畑の15%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。 <p><江西地区></p> <ul style="list-style-type: none">畑を耕作している担い手農業者はいない担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地はない <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none">当地区の畑地では農地集積事業が行われていて、担い手農業者への農地集積が進んでいる。たまねぎの産地が形成されている。
--

3. 担い手農業者への農地の集積・集約化に関する方針

<p><篠原地区></p> <ul style="list-style-type: none">露地畑作で18名の担い手農業者が、計22haの耕作地拡大を希望している。1ha以上と広く面積を希望する担い手農業者が7名、計18ha <p><舞阪地区></p> <ul style="list-style-type: none">露地畑作で5名の担い手農業者が、計7haの耕作地拡大を希望している。1ha以上と広く面積を希望する担い手農業者が2名、計6ha <p><新津可美地区></p> <ul style="list-style-type: none">露地畑作で5名の担い手農業者が、計12haの耕作地拡大を希望している。1ha以上と広く面積を希望する担い手農業者が2名、計11ha <p><江西地区></p> <ul style="list-style-type: none">耕作拡大を希望している担い手農業者はいない。 <p>【方針】農地集積事業により引き続き、計画的な農地集積を進めるとともに、耕作地交換による集約化や、集約に支障となっている放棄地の再生利用を進め、農作業の効率化を図る。</p>
--

【その他】

<p>【令和4年度の動き】</p> <ul style="list-style-type: none">・R5.3時点の担い手数 ※()内はR4.3からの増減<篠原地区> 田:現数1名(0増、0減)、畑:現数33名(2増、1減)<舞阪地区> 田:現数0名(0増、0減)、畑:現数9名(0増、1減)<新津可美地区> 田:現数3名(0増、2減)、畑:現数10名(0増、3減)<江西地区> 田:現数0名(0増、0減)、畑:現数0名(0増、0減)・農地集積事業の事業エリア拡大(新津地区の畑地・JA) ・12/1地域の話合い開催・話合いのテーマ:農業が継続できそうなエリアと継続が難しそうなエリア・話合いで出た意見:別紙
--